



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月11日

上場会社名 ディップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2379

URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 渡辺 永二 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	4,519	45.9	895	720.8	894	790.4	478	-
26年2月期第1四半期	3,097	43.1	109	-	100	-	35	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	43.22	-
26年2月期第1四半期	3.22	3.22

(注) 平成26年2月期第1四半期の経営成績(累計)は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	8,118	4,531	55.8
26年2月期	7,710	4,316	56.0

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 4,531百万円 26年2月期 4,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	-	0.00	-	23.00	23.00
27年2月期	-	-	-	-	-
27年2月期(予想)	-	0.00	-	34.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	35.1	746	118.9	744	128.2	392	176.6	35.49
通期	16,180	24.0	2,529	47.5	2,521	48.1	1,387	47.5	125.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

対前年同四半期増減率は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	12,400,000株	26年2月期	12,400,000株
27年2月期1Q	1,326,734株	26年2月期	1,326,734株
27年2月期1Q	11,073,266株	26年2月期1Q	11,035,409株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成26年7月14日（月）に当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成26年4月に実施された消費税増税による影響も概ね想定範囲内に止まっており、政府の各種政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益及び個人消費が改善し、設備投資が増加するなど、景気は緩やかに回復しております。

国内の雇用情勢につきましては、平成26年5月の完全失業率(季節調整値)は3.5%となり、3カ月ぶりの改善となり、平成9年12月(3.5%)に並ぶ16年5カ月ぶりの低水準となりました。有効求人倍率(季節調整値)は前月に比べて0.01ポイント上昇の1.09倍と、18カ月連続で改善し、平成4年6月(1.10倍)以来、21年11カ月ぶりの高水準まで回復しております。

このような環境のなか、当第1四半期累計期間におきましては、主力事業であるメディア事業において、営業力及び商品力を継続的に強化するとともに、前年同四半期を上回る広告宣伝投資を実施し、認知度の向上及びユーザー拡大に努めてまいりました。エージェンツ事業におきましては、キャリアアドバイザーの質の向上を図り看護師満足度の向上を図るとともに、効果的な広告宣伝を実施し看護師集客力の向上に努めてまいりました。

これらの施策に加え、アルバイト求人情報サイト「バイトル」において、アルバイト採用における求人需要の高まりが継続したこと等により、当第1四半期累計期間の売上高は45億19百万円(前年同四半期比45.9%増)となりました。

営業利益、経常利益につきましては、積極的な広告宣伝投資を実施したものの、売上高が堅調に推移したことにより、営業利益8億95百万円(前年同四半期比720.8%増)、経常利益8億94百万円(前年同四半期比790.4%増)となりました。なお、四半期純利益は4億78百万円(前年同四半期は四半期純利益35百万円)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① メディア事業

メディア事業におきましては、求人広告事業である「バイトル」、「はたらこねっと」等の事業を運営しております。

「バイトル」におきましては、職種・業種に特化した専門サイト「コンビニバイトル」「アパレルコレクション」「カフェバイトル」を平成26年5月13日より公開いたしました。働きたい職場が予め決まっているユーザーが求める情報を集め、それぞれの特徴に合わせたコンテンツや検索軸を実装し、ユーザーの利便性向上に努めてまいりました。

また、女性アイドルグループAKB48・SKE48のメンバーを起用したTVCFを積極的に放映し、認知度の向上及びユーザー基盤の強化を図ってまいりました。加えて、同グループとの応募者限定のコラボレーション企画等も実施しユーザー集客力の向上に努めてまいりました。

さらに、社会貢献活動及びユーザー満足度向上への取組みとして、平成25年5月より、従業員募集時の給与(時給等)アップについて交渉し、賛同いただいたお仕事情報に「Raise the Salary」マークを表示し、給与が上がっていることをサイト内でアピールする『レイズ・ザ・サラリーキャンペーン』を実施している他、平成25年9月より採用が決まった際、求人企業から支度金、祝い金などの一時金がもらえるお仕事にアイコンをつけユーザーに訴求する「Happyボーナス」キャンペーンを実施しております。

「はたらこねっと」におきましては、スマートフォンでの利便性向上のための施策を継続した他、女優の上戸彩さんを起用したTVCFを放映し、認知度の向上及び新たなユーザー獲得に努めてまいりました。

上記施策とともに販売を強化し、「バイトル」、「はたらこねっと」の契約社数及び掲載情報数の拡大に注力した結果、当セグメントにおける売上高は37億18百万円(前年同四半期比67.3%増)となりました。セグメント利益は売上高の増加に伴い9億84百万円(前年同四半期比604.3%増)となりました。

② エージェント事業

エージェント事業におきましては、「ナースではたらこ」サイトへご登録いただいた転職を希望される看護師へ、医療機関を紹介する人材紹介事業を運営しております。

当第1四半期累計期間において、効果的な広告宣伝を実施し、応募者の獲得に注力するとともに、キャリアアドバイザーへの教育を一層強化し、集客力及び看護師満足度の向上に努めてまいりました。

なお、平成26年4月に発表された楽天リサーチによる看護師人材紹介会社顧客満足度ランキングにおいて三年連続第1位を獲得し、当社サービスにおける高い評価をいただく結果となりました。

同事業におきましては、例年4月の看護師入職が最も多いことから、売上高が第1四半期累計期間に偏重する傾向にあるものの、前期より利益基盤の確立のため経営資源を最適化したことに伴い、当セグメントにおける売上高は8億1百万円(前年同四半期比8.5%減)、セグメント利益は3億19百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し4億8百万円増加し、81億18百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1億90百万円、受取手形及び売掛金の増加2億40百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し1億93百万円増加し、35億87百万円となりました。主な要因は、未払金の増加4億56百万円及び未払法人税等の減少3億61百万円、その他の流動負債の増加1億21百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し2億15百万円増加の45億31百万円となりました。これは、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年6月16日に修正公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,969,964	3,159,972
受取手形及び売掛金	1,736,841	1,977,682
仕掛品	192	77
貯蔵品	31,728	14,432
その他	435,377	461,137
貸倒引当金	△100,084	△108,630
流動資産合計	5,074,020	5,504,672
固定資産		
有形固定資産	342,673	389,578
無形固定資産		
ソフトウェア	1,617,167	1,602,289
その他	158,952	183,108
無形固定資産合計	1,776,120	1,785,398
投資その他の資産		
その他	519,620	447,464
貸倒引当金	△8,700	△8,592
投資その他の資産合計	510,919	438,871
固定資産合計	2,629,713	2,613,848
繰延資産		
開発費	6,349	-
繰延資産合計	6,349	-
資産合計	7,710,082	8,118,520
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,293	142,929
短期借入金	800,000	700,000
未払金	944,890	1,401,509
未払法人税等	815,037	453,482
返金引当金	29,760	65,478
その他	452,209	573,453
流動負債合計	3,174,191	3,336,853
固定負債		
株式給付引当金	49,905	55,237
資産除去債務	133,320	152,166
その他	36,476	43,000
固定負債合計	219,703	250,405
負債合計	3,393,894	3,587,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,000	1,085,000
資本剰余金	1,135,509	1,135,509
利益剰余金	2,590,813	2,805,887
自己株式	△495,134	△495,134
株主資本合計	4,316,188	4,531,262
純資産合計	4,316,188	4,531,262
負債純資産合計	7,710,082	8,118,520

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,097,637	4,519,440
売上原価	382,341	411,017
売上総利益	2,715,296	4,108,422
販売費及び一般管理費	2,606,233	3,213,230
営業利益	109,063	895,192
営業外収益		
受取保険金	749	-
備品売却収入	-	937
その他	573	345
営業外収益合計	1,323	1,282
営業外費用		
支払利息	3,066	1,522
シンジケートローン手数料	6,550	-
その他	261	-
営業外費用合計	9,878	1,522
経常利益	100,508	894,951
特別損失		
固定資産除却損	0	1,051
特別損失合計	0	1,051
税引前四半期純利益	100,508	893,900
法人税、住民税及び事業税	84,678	443,848
法人税等調整額	△19,715	△28,529
法人税等合計	64,963	415,318
四半期純利益	35,544	478,582

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式付与E S O P信託制度について)

前事業年度より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。これに伴い、前第1四半期累計期間の四半期損益計算書については、遡及適用後の数値を記載しております。

(1) 制度の概要

当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は予め定める株式付与規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を、株式市場から予め定める取得期間中に取得します。その後、当該信託は株式付与規程に従い、信託期間中の従業員の等級や勤続年数に応じた当社株式を、在職時又は退職時に無償で従業員に交付します。

(2) 信託に残存する自社の株式

E S O P信託口が所有する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前第1四半期累計期間122,985千円、383,600株、当第1四半期累計期間122,985千円、383,600株であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2、3
	メディア事業	エージェンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,221,941	875,695	3,097,637	—	3,097,637
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,221,941	875,695	3,097,637	—	3,097,637
セグメント利益	139,777	317,010	456,788	△347,725	109,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△347,725千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当事業年度より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。これに伴い、当第1四半期累計期間については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,718,063	801,377	4,519,440	—	4,519,440
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,718,063	801,377	4,519,440	—	4,519,440
セグメント利益	984,459	319,832	1,304,292	△409,100	895,192

(注) 1. セグメント利益の調整額△409,100千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。